

道母連事業報告 No.2

北見あゆみ保育所 山崎 有利

「おはようございます」子ども達の
屈託無い笑顔と元気な挨拶が始まる日
常。ところが令和2年、世界を不安の
渦に巻き込んだ『新型コロナウイルス』
により私達の住む北見市でも展示会
のクラスターが発生し、目に見えない
ウイルスとの戦いが始まりました。

朝・昼の検温、手洗いがいい、アルコール消毒。子ども達は小さな手に消毒ジェルを付け「バイ菌ばいばい」と手を擦り合わせます。この小さな命を守らなければ!!と言う責任感に身の引き締る毎日です。現在、1歳から4歳の男女4人の可愛い子ども達にパワーを貰い毎日を元気に過しております。11月には1歳の男の子が入所予定で益々賑やかになります。先日、今年度をもって保育所が閉所との通達があり、お母

様方から「絶対なくならないで欲しい」との声を頂いていただけでも淋しく、残念でなりません。残された日々を子ども達と共に一日一日を大切に過ごし、たくさんの思い出を作りたいと思います。



3月30日お別れパーティー



春の遠足
つつじが満開

マスク美人



裸足で遊び
気持ちいい!



網走向陽ヶ丘保育所

穴山 栄美

2月末に病院の事務長と感染対策室の方が来て、コロナ対策について、マスク、手洗い、検温、消毒、換気の指導を受けました。玩具を始め子ども達が触れる所、使う物についてはその都度消毒。その時に使用する手袋とエタノールを含んだ不織布も頂きました。万が一の時があれば病院関係者、患者さんにも影響します。子ども達は手や玩具を口に入れたり、お友達と触れ合うのが日常となっているので、私達も毎日ドキドキです。そして、消毒、マスクも在庫が無くなりそうで困っている時に母連より送って頂き本当に助かりました。網走では、今はコロナ感染者は出ていませんが、まだまだ気は抜けず対策を続けています。保育所は父兄の転勤、市の保育所への入所で子どもが減り淋しくなりました。お友達が来てくれる日を待っています。きっと今年はこのまま対策の日が続くのでしょうか。少しでも外へ出て子どもと共に体を動かし、元気に過ごして行きたいと思っています。

江差たんぽぽ保育所

岩見かおり

新型コロナウイルスが流行り出し、地域のいろいろな行事が中止になり、学校が休校になるという事態の中でも保育所は、働く保護者（看護師）のために通常通り開所してきました。玄関には関係者以外はなるべく出入りしないようにと紙をしたり、大人も子どもも手洗いをこまめに行い、集団になることを避けて過ごすということを現在も続けています。道南にもぼつぼつと感染者が出たものの、私たちの地域では感染者は出ておらず少し安心しています。マスクや除菌液など不足している中、道母連から携帯用の除菌ジェルやマスクを送っていただき、保護者も私たちも本当に助かりました。いつでも、子ども達や保育士のことを気遣っていただき本当に感謝しております。自粛が解除になってからまた感染者が日に日に増えていますが、私たちは私たちがなりに感染しないように、させないようにこれからも気をつけながら過ごしていきたいと思っています。

みんなで
お散歩へ



虫さんいっぱい
いたかな